



豊かな心を育む教育活動を止めない

雨が降らず気温の高い短い梅雨が明け、早くも本格的な夏が始まりました。まだ暑さに慣れていないこともあり、いつも以上に熱中症対策を強化しているところです。学校は安心安全を第一に考えながら、少しずつ通常の教育活動へ歩みを進めています。

6月は、2日・3日に、平和学習の集大成として6年生が広島へ修学旅行に行きました。小学校生活最初で最後の1泊2日の旅。原爆資料館での子どもたちの真剣な顔。映像や写真・展示物や解説を観て聴いて、あまりの衝撃に涙を流す児童もいました。「百聞は一見にしかず」。原爆で被害にあった広島に実際に行き、命の尊さ・平和の大切さについて考えを深め、感じ取りました。また、集団行動で人への思いやりの気持ちを育みました。時間を守って行動することができ、たくさんの思い出を作り、笑顔いっぱいの学びの多い修学旅行となりました。これからの子どもたちの学校生活、そして、人生に生かして行動していって欲しいと思います。また、たくさんの保護者の皆さんに見送り・出迎えをしていただき、子どもたちだけでなく職員もうれしく思いました。ありがとうございました。

17日には、なにわフェスティバルを行いました。今回はコロナ禍ですので、子どもたちだけの参加としましたが、オープニングセレモニーや制限のない活動で実施することができました。テーマは「**なかよく にこにこ わくわく**楽しいフェスティバル」。お店を楽しむだけでなく、人を楽しませ役に立つ楽しさ・友達と協力してやり遂げる楽しさを味わってほしいと子どもたちには伝えました。子どもたちが主体的に考え、取り組んでいる姿に子どもたちの持っている力の素晴らしさそして可能性を感じました。笑顔があふれ、満足そうな顔が見られました。子どもたちはいろいろな経験を積むことで豊かな心を育み、成長します。できる限り、教育活動を止めずに取り組んでいこうと再度心に刻みました。

3年ぶりの水泳指導始まる

6月23日より、3年ぶりに学校での水泳指導が始まりました。子どもたちの笑顔がプールで見られ、活気にあふれています。感染症対策としては、プールサイドにフラフープを置いて距離の確保・更衣室での密を避けるため分散しての着替え・対面にならない指導など取り組んでいきます。3年生以下にとっては初めての実技指導となり、他学年の児童も長いブランクがあるため、まずは水難事故等から自分の命を守ることができるよう水慣れやもぐる浮く運動等の体験を重視したいと考えています。教職員にとっても久しぶりの水泳の実技指導となるため、消防署による心肺蘇生の研修や尼崎市教育委員会から水泳指導に精通した授業改善アドバイザーをお招きしての実技研修を実施しました。子どもたちにとって必要な水泳学習を安全に行っているところです。ご家庭でも準備・カードの記入・体調管理等、ご協力よろしくお願い致します。